

弘前大学職員組合 病院長交渉を行います

弘前大学職員組合は、2022年9月に実施いたしました「職場環境改善アンケート」結果や、聞き取り調査等の情報をもとに、病院長交渉を行います。組合が病院長に提出した要求項目は、看護部への要望6項目、技術部への要望3項目、職員駐車場の拡充について2項目です。

(要求項目の詳細は、過日皆様のお手元にお送りいたしました「病院長交渉申し入れ書」の中に記載されています。また右⇒QRコードよりご覧いただけます)



とき：2023年2月2日（木）

13:30～14:30

ところ：外来診療棟5階大会議室

病院側の出席者

大山病院長・井瀧看護部長・津田リハビリテーション部長・塚本医療技術部長・村市事務部長
坂本総務課長・森屋施設環境部長

組合側の出席者

永瀬執行委員長・深作副委員長・畠山書記長
宮永理工支部長（附属病院支部担当）・竹浪書記

特に、職員駐車場について

2021年12月に、本町の職員駐車場と勤務時間内休憩時間に使用できる休憩場所について実施したアンケート調査には139人の方から回答をいただきました。

アンケートで明らかになったのは、申請料を払い駐車許可を取っても、駐車場所が早い者勝ちなので30分～60分（最長は110分）、駐車するためという理由だけで、毎日多くの職員が早出しているという実態です。

組合は、2021年12月21日に病院長に「附属病院の労働環境改善を求める要望書（主に駐車場利用について）」を提出、2022年1月13日に回答を得ています。その回答には「附属病院の近隣は一般家屋が密集し、駐車場利用できる土地を見つけることは困難ではありますが、土地の取得について今後、病院の再開発計画の中で検討し、引き続き努力して参るとともに、既存の駐車場の立体駐車場化についても検討していきたいと考えております」とありました。

本町職員駐車場の立体駐車場化を求めましょう

本町地区の駐車可能台数が、駐車場利用台数に対して絶対数が不足し、利用許可台数の方が多いことは、附属病院長も認めています。

南塘町グラウンドに鉄板を入れ臨時駐車場として整備を進めますということも、2022年1月13日の回答の中にありました。このたびの冬も、南塘町グラウンドは、駐車場として利用できるようになっています。

組合では、「駐車場のスペースを示すラインを、雪が降ってもわかるようにしてほしい」と要望しましたが、病院側では、工事用のコーンを立てるという名案な対策を取ったようです。

シール投票で意思表示を

外来診療棟5階総務部前に職員組合の掲示板があります。病院長交渉を行う2月2日前日まで、掲示板に「本町職員駐車場の立体駐車場建設を求めます」ボードを用意しますので、賛成の方はシールを貼ってください。ボードは、病院管理職の皆さんにも見ていただけるよう、交渉時に持参します。「要求一言カード」もご利用ください。

毎朝、病院付近の渋滞にいらいらしながら駐車場を探すというストレスを早くなくしてもらいましょう。



弘前大学職員組合附属病院特設ページ
⇒QRコードよりご覧いただけます

弘前大学職員組合

☎0172-34-5539

hiro dai.shokuso@gmail.com